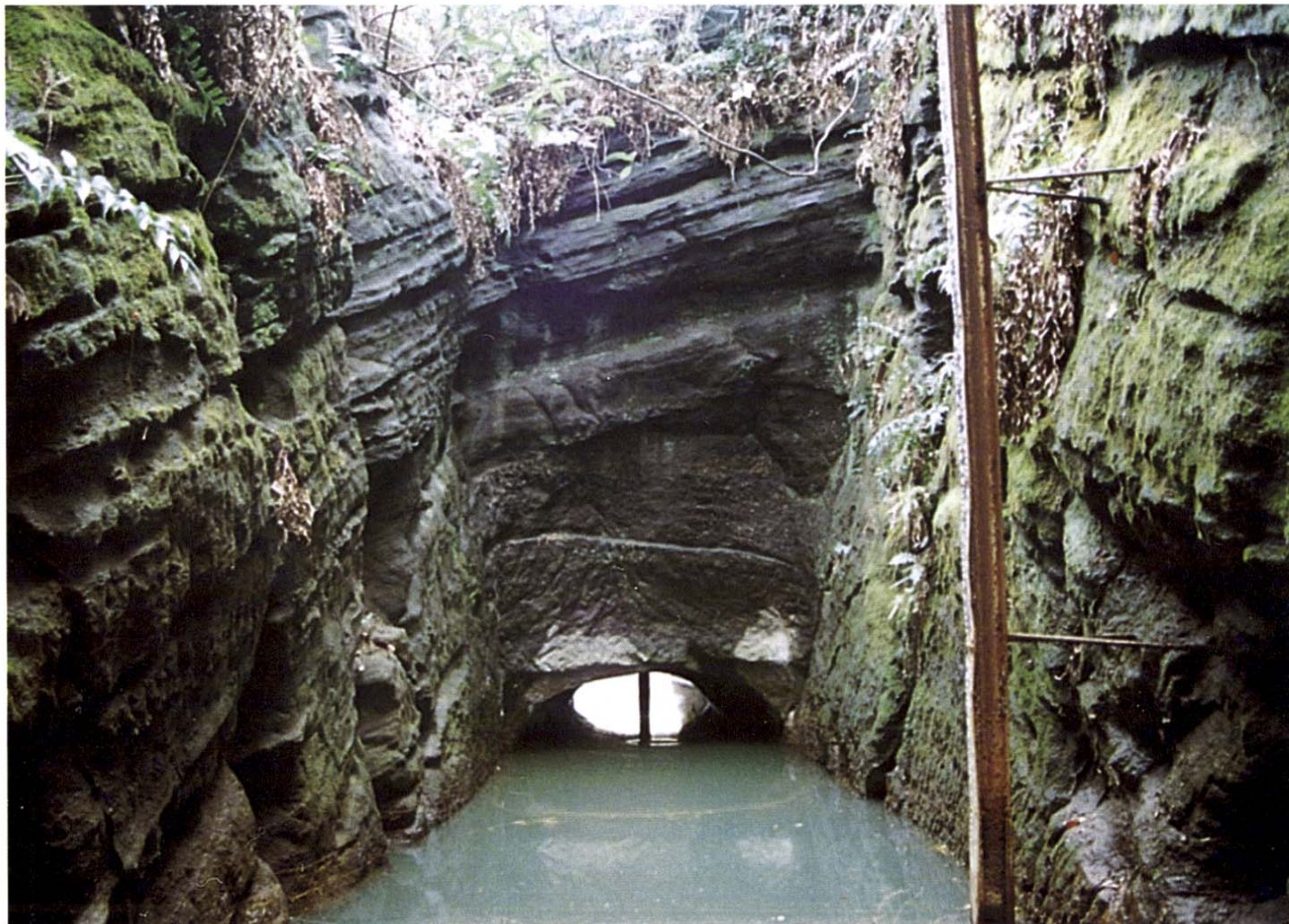




# ふれあい 放水路

1995  
(平成7年)  
第12号  
3月



この岩の向こう側が斐伊川本川からの取水口です

## 来原岩樋

出雲市大津町の上来原かみくろはらに、岩を掘り抜いて造った樋門があります。斐伊川の水はこの岩樋をくぐり抜け、高瀬川と閭ま府ぶ川となつて、大津町から大社町中荒木までの流域、約八〇〇ヘクタールを潤しています。

今からおよそ三〇〇年前、高瀬川は、大社町荒木地区の水利を目的に開通しました。はじめ、その取水口は斐伊川の土手に伏せられた木樋でしたが、もつと頑丈なものをと、大梶七兵衛の孫・忠左衛門によつて開削されたといわれているのが現在の岩樋です。

岩樋の開通後は水門の操作で水量が調節できるようになり、用水路として利用すると同時に、昭和初期までは高瀬舟によつて物資の輸送に利用されていました。

長い歴史を経て、水門の開閉が手動から電動に変わったものの、岩肌に残るノミの跡が先人の苦労を残しています。

## ② 今後の整備方針 (21世紀初頭に向けての整備目標)

～ダム、放水路、大橋川改修を柱とした安全・快適な郷土基盤と活力ある地域づくり～

- (1) 出雲地方拠点都市地域の中心都市出雲市をはじめ、斐伊川本川の沿川地域に対しては、尾原ダム及び斐伊川放水路を完成させるとともに、本川中上流部の床止の設置や堤防の強化を行って、概ね80年に1回発生する規模の洪水が来ても、氾濫しないようにします。  
また、斐伊川の放水路となる神戸川では、志津見ダムを完成させるとともに、計画規模(150年に1回発生する規模)の洪水があふれないように、川の大きさを確保します。
- (2) 中海～宍道湖の沿岸地域については、湖岸堤の大きさを確保するとともに、斐伊川放水路、尾原ダム及び大橋川改修を完成させて、地域の安全性を確保します。
- (3) 魅力ある地域社会の形成に寄与するため、自然豊かな水辺環境を基調とした自然とのふれあいの場、イベントやレクリエーションの場として利用できるよう、多自然型緩傾斜堤や桜づつみなどの事業を進めていきます。  
また、斐伊川放水路では、多数の橋梁の架け替えとあわせて、出雲地方の伝統文化等を象徴する魅力ある景観形成を図るほか、神戸川の自然や生態系に配慮した多自然型護岸整備、新たに生まれる高水敷を地域の人々のいこいの場として整備します。

## ③ 2001年までの整備試案

②の整備目標のうち2001年までに整備が可能な項目

- 1. 21世紀初頭の完成に向けた斐伊川放水路及び大橋川の重点的な整備
- 2. 中海湖岸堤のうち、米子市霞津地区、安来市赤江地区等の整備
- 3. 宍道湖西岸平田地区の多自然型湖岸堤、木次町下熊谷地区の桜づつみの完成



多自然型川づくりイメージ図 (宍道湖・平田市)

この「斐伊川中期整備試案」を「たたき台」として、自治体など地域の方々と議論を行い、今後の斐伊川の整備に反映させていく予定です。さらに詳しくお知りになりたい方は、出雲工事事務所にご連絡頂ければ、パンフレットをお送りします。できるだけ多くの方にご覧頂き、河川の整備に関するご意見をお伺いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

# 斐伊川中期整備試案を公表

河川整備に対する、沿川地域の方々の要望や期待は、多種多様なものがあります。建設省では、今後どのように河川整備を進めて行くのかを、一般の方々に示し、理解して頂くとともに、ご意見・ご要望をお聞きして、今後の河川整備に役立てて行きたいと考えています。

このような目的で、国が管理する全国の一級河川すべてについて、各河川の整備目標や具体的な整備内容を試案としてとりまとめ公表しました。ここでは、「斐伊川中期整備試案」の概要を紹介します。

## ① 斐伊川の現状と課題

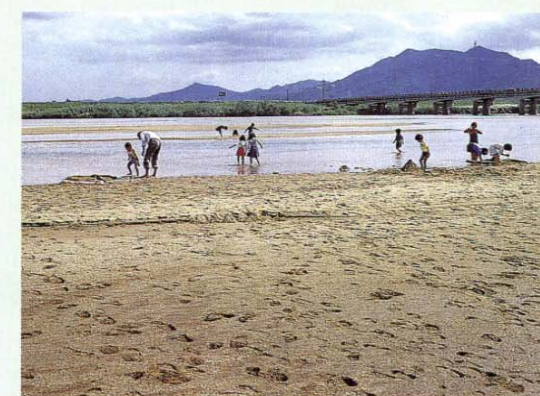
みなさんよくご存じのとおり、斐伊川は出雲神話の舞台に度々登場する、歴史ある川です。

しかし、上流から流れてくる砂が堆積して、川底が宅地より高い天井川になっていたり、下流の宍道湖や中海の水位と日本海の水位との差が10～20cmと小さいうえ、両湖を結ぶ大橋川の川幅が狭いため、洪水時の水はけが悪いことなど、洪水に対して、大きな弱点を持った川であると言えます。

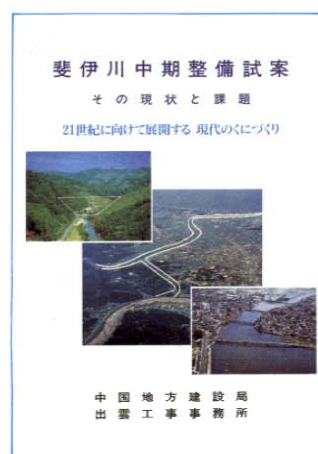
斐伊川の河川改修は、これまでも、斐伊川本川の砂対策や堤防の漏水対策、大橋川の水底の土砂の除去などが重点的に行われてきましたが、依然として、万一斐伊川の堤防が決壊すると、出雲平野のほとんどの浸水被害が及ぶうえ、宍道湖・中海沿岸では宅地開発が進んで、浸水被害の危険性はさらに大きくなっています。

昭和47年7月の梅雨前線では、斐伊川の堤防が決壊寸前の状態にまでなり、宍道湖では増水により、松江市を始め約70km<sup>2</sup>が1週間以上浸水し、大きな被害を出しました。

そこで、この洪水を契機として、「上流ダム、放水路、大橋川改修」を柱とする、斐伊川・神戸川を合わせた総合的な治水対策が策定されました。



神立橋付近



斐伊川中期整備試案では、①斐伊川の現状と課題を整理したうえで、②「今後の整備方針」として、21世紀初頭に向けて整備すべき目標を示すとともに、③現在の投資ペースが続くと仮定した場合に、概ね10年先である2001年(平成13年末)までに実施可能な事業を示し、④最後に今後の河川整備の課題を記載しています。

工事情報  
コーナー

# 大島町内に待望の堤防完成!

ふれあい放水路の創刊号で紹介していた大島町吉場地区よしばに、住民待望の堤防が完成しました。

当地の一部には堤防のない区間があり、地区の方々は洪水に対する大きな不安がありました。そこで、放水路事業の中ではまず最初に堤防工事を行っていたものです。

新しい堤防は、現在の神戸川の堤防と比べ、幅・高さとも大きく、頑丈なものになり、延長は二四二mあります。この堤防が吉場地区を洪水から守り、地域の発展に役立てばと念願しています。

なお、当地の堤防は、大洪水のときは直接水流が当たることから、二〜三年後には更に堤防を強くする工事を予定しています。



施工前



施工後

### ■「懐しいあの頃」

昔の神戸川の写真をお送りください。なお、写真を提供していただいた方には、お返しする際に引き伸ばしパネルを差し上げます。



**建設省中国地方建設局  
出雲工事事務所**

〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850



「大きくなつて帰ってきてね。」そう願つて、三月七日、古志幼稚園の子供たち、地元関係者の方々、工事関係者が神戸川にサケの稚魚を放流しました。

サケは日本海に出て北上し、三、四年後に神戸川に帰ってくるそうです。元気良く長い旅に出発したサケをその時はまた、きれいな川で迎えてあげたいですね。

## ふれあい放水路

### 通信

### 神戸堰で

### ふれあい放流

3月22日「国連水の日」  
人と水との未来のために

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当